

機械式駐車設備 ● 納入事例 「超高層タワー型マンション」
G・A・タワー

**多層循環方式「SPパーク」の騒音を抑えた
 静かな入出庫が居住空間の快適さをサポート**

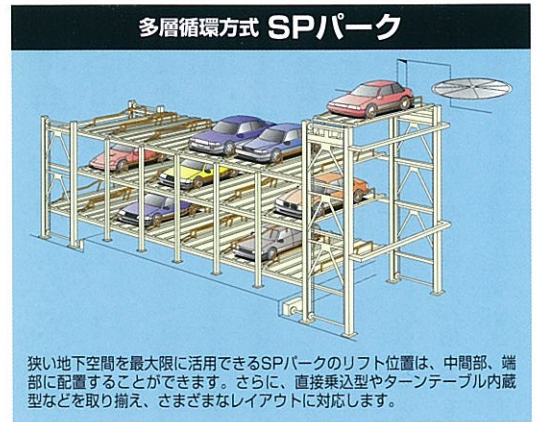
活気あふれる名古屋の中心街「栄」から、地下鉄で三駅という絶好のロケーション。名城線の東別院が昨年二月に誕生しました。総戸数は百六十七戸。空地率五十八%のゆとりの設計に、三つの庭園を持った環境創造型ランドプランを採用。高い基準をクリアした耐震設計と高強度のコンクリートや鉄筋の使用により、百年先まで見通したロングライフ構造は、G・A・TOWERならではのものです。建材には、低ホルムアルデヒド製品が用いられ、随所に見られるフラット設計や歩道分離設計とともに、乳幼児や高齢者にも安心の、ユニバーサルデザインが施されています。エントランス・ホールは天然大理石仕上げ。ホテルのような車寄せを設



乗込口の閉口時



SPパーク乗込口 (ハイルフ仕様)



庫内は防音仕様で、ターンテーブルが内蔵されている

置して、雨の日も濡れることなくゲストを玄関ホールに迎えることができます。さらに、情報化社会に対応した、高速・大容量ブロードバンドインターネットサービスの配備、生ゴミを地下処理槽でろ過処理し、下水として流すデイスポージャーシステムも全戸に標準装備されています。マンション入居者のための駐車場は地下に設けられ、収容台数は百三十五台。このうち百十台が、四基の多層循環方式「SPパーク」によって収容されています。

超高層のタワー型マンションにおいては、いくつかの点で商業施設とは異なった機能が駐車設備にも要求されました。そのひとつは、ファミリーユースのハイルフ車の入庫です。子供のいる活動的な世代では、セダンよりもワンボックスカーや四駆車に人気が集まっています。日精では、乗込口の車高を高くするなど、ハイルフ車仕様様の設備をご提案することで、こうしたユーザーの要望にお応えしました。また、居住空間である集合住宅では、夜間や早朝に、機械設備の動作騒音が響くことは住民からの苦情となりかねません。そこで、車庫内の防音対策に力を注ぎ、滑らかな動きで振動を最小限に抑えることで、静かでスピーディな入出庫を可能にしました。多層循環方式ではトップシェアを誇る、日精の機械式駐車設備は、上質なマンションライフをサポートします。

PRESENT FOR READERS ホームページからも応募可能
<http://www.nissei.co.jp/parking/com/enquete>

アンケートにご回答いただいた皆様方に、もれなくお礼として粗品 (図書カード500円分) を進呈させていただきます。

アンケートに答えてプレゼントを当てよう!

1名	5名	50名	30名
日立DVDプレーヤー DV-P600	大江 匡「リキッドスペース」(新建築社)	図書カード (1,000円分)	日精ノベルティ

応募方法: プレゼントの応募方法は、同封の「アンケート用紙」に必要事項をご記入のうえ、宛名欄に印字されているお客様番号をお忘れなくご記入いただきまして、はがき、またはFAXで、「日精パーキングシステム本部」までご返送ください。厳正なる抽選のうえ、プレゼントの当選者を決定させていただきます。また、プレゼントご応募の締め切りは2004年4月末日まで有効とさせていただきます。なお、プレゼント当選者の発表は当選されました賞品の発送をもちまして代えてさせていただきます。

乗込口スペース

建築概要・建築規模

建築主: 住友不動産(株)・(株)大京
 構造規模: 地下1階/地上24階建/塔屋付共同住宅
 建築面積: 1,281.95m²
 延床面積: 24,651.45m²
 設計・監理: (株)日建ハウジングシステム
 施工: 大成・長谷工コーポレーション共同企業体

駐車設備概要

駐車設備: ニッセイ・SPパーク
 機種: 多層循環方式
 型式: SP・LSR3MH-23
 SP・LSG3MHT-35
 SP・SG4-22、SP・SG4-30
 収容台数: 合計110台



COM
 NISSEI PARKING SYSTEMS

酒井敦彦氏 (さかいあつひこ)
 1941年長崎県生まれ。武蔵野美術大学卒業。水彩画展新谷直之介賞、水彩画展文部科学大臣奨励賞など、多数受賞。裏表紙の風景画は、日精ホームページより、壁紙としてダウンロードしていただけます。
<http://www.nissei.co.jp/parking/com/>

発行日: 2004年2月1日
 通刊第18号
 発行: 日精株式会社
 パーキングシステム本部
 〒105-8411 東京都港区西新橋1-18-7
 TEL.03-3502-9556
 本誌掲載の写真・記事の無断転載および写真を禁じます。

編集後記

今号の「COM」はいかがでしたでしょうか。皆様からはアンケートを通じて、毎号たくさんのご意見ご感想をお寄せいただき、編集スタッフ一同、心より感謝申し上げます。これからも私も日精は、駐車設備の総合メーカーとして、万全の体制をもって、「使う人の身になった」、「使う人に優しい」駐車設備をご提案できまよう研究開発に一層励んでまいります。そして皆様によりブラッシュアップした「新しい日精」をお目にかける所存でございますので、本年も変わらずご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。最後になりましたが、今号の取材に当たり、ご協力いただきました皆様方に、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。